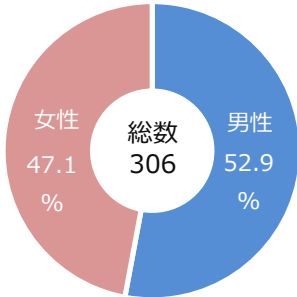


3. 部位別《大腸》

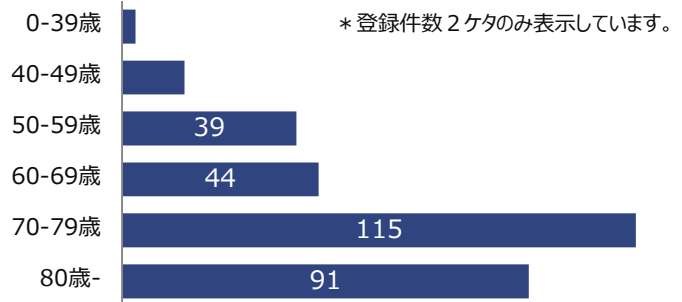
2024年症例

- * 分類方法：癌腫のみ（国立がん研究センター 院内がん登録全国集計 病期分類対象コードに準じています。）
- * 症例区分：「自施設初回治療開始」

3-1. 男女比



3-2. 年齢別件数



3-3. 岡山県施設別治療件数割合

⚠️ ただいま国立がん研究センターの最新データ公表待ちです。今しばらくお待ちください。

3-4. 総合ステージ割合（UICC第8版）

* 手術で切除したがんの組織診断から判定した術後病理学的ステージを最優先したステージ。手術がなされない等の理由で判定できない症例は、画像診断等によって判定したステージを用いました。

	0期	I期	II期	III期	IV期
当院	30.7%	21.6%	19.6%	14.4%	13.7%

岡山県

⚠️ ただいま国立がん研究センターの最新データ公表待ちです。今しばらくお待ちください。

3-5. 治療別割合

* 岡山済生会外来センター病院で行った薬物療法は含みません。

	手術あり（内視鏡治療を含む）	手術なし・薬物療法あり	経過観察
当院	86.3%	5.6%	7.8%

岡山県

⚠️ ただいま国立がん研究センターの最新データ公表待ちです。今しばらくお待ちください。

3-6. 手術内訳

	内視鏡手術	鏡視下手術／ロボット支援下手術	開腹手術
当院	34.1%	44.3%	21.6%

岡山県

⚠️ ただいま国立がん研究センターの最新データ公表待ちです。今しばらくお待ちください。

手術後の生活の質を考慮し、臓器や神経を温存し機能をできる限り残すことも重視しています。内視鏡手術や最先端のロボット支援下手術など、より身体に負担の少ない手術を積極的に行っています。人口肛門（ストーマ）を造設した場合は、より早期に社会復帰できるよう皮膚・排泄ケア認定看護師が専門性の高いストーマケアの指導を行っています。